

第 15 回新しい資本主義実現会議 提出資料

Z ホールディングス株式会社 代表取締役社長
川邊 健太郎

「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画」フォローアップ資料について、大枠において引き続き異論はありませんが、各論において以下 3 点を言及致します。

1. P.13「Ⅲ.3. (1)スタートアップ育成 5 年計画の策定」について
 - ・ スタートアップ育成については、Just do it の状況
 - ・ 主役は起業家たちなので、スタートアップに「5 年で 10 倍の投資すること」を、彼女ら／彼らが認識できるよう浸透させる必要あり
 - ・ 政府の広報活動は、一部では効果あり
 - ・ 私も 6 月に開催されるスタートアップイベントに鈴木政務官とともに登壇し、宣伝を通じて貢献する所存
 - ・ より大きな広報効果を得るためには、起業家が日常的に使っている SNS に「5 年で 10 倍」アカウントを作るなどして、具体的な支援策の解説などを行っていくべき
 - ・
2. P.18「Ⅴ.1.デジタル田園都市国家構想の推進」の「地域交通ネットワークの再構築」について
 - ・ 郊外・過疎地域における自動運転の導入が話題であるが、一般道での完全自動運転の実現はかなり先のことであり、現実的ではない
 - ・ それよりも、ライドシェアサービスの拡充に努めるべき
 - ・ 一部の業界のためだけに、都市部も含めて数千万人が文字通り足止めを食っている現状は、完全に移動後進国
 - ・ 既存の事業者に対しては政治が補償し、圧倒的大多数の国民に、ライドシェアのメリットを提供すべき
 - ・
3. P.10「Ⅲ.2. (2)AI 実装」ならびに資料全体について
 - ・ 生成型 AI、対話型 AI と呼ばれる技術が長足の進歩を遂げており、おそらくこの進歩は今後数年でさらに加速する
 - ・ 政府は積極的にこれら AI 技術の行政や国会における利活用に動くべき
 - ・ AI 技術を活用するかしないかは、電気や内燃機関を活用するかしないかくらいの劇的な差となるだろう
 - ・ 行政の DX→データドリブン化→AI 活用の基盤整備を粛々と推進すべき
 - ・ それに付随するデータガバナンスやセキュリティレベルの向上も当然に高めるべき